

地球上最古の陸生植物

小 泉 源 一

一九一七年 R. KIDSTON, W. H. LANG 兩氏の Scotland Rhynie 泥盆紀の古松葉蘭類 (Psilophytales) の詳細にして興味多き研究は、泥盆紀植物研究の大なる刺戟となり、其後世界各地に於ける泥盆紀化石植物は大なる注意を以て研究せらるゝに到れり。

初め兩氏の Horneaceae, Rhyniaceae, Asteroxylaceae 等の発見せらるゝや、之等果して羊齒植物群の最も原始的なる最初の陸生植生なりや、又は然らずして、より高等なるものより適應變化せしものなるかに就き多少の疑問ありしが、其後 Psilophytales の分布は世界的なる事漸く分明し來りしを以て、是等は羊齒植物群中の最原始的なるものとして考へらるゝに到れり。

然るに今は、地球上最古の陸生植物は泥盆植物にあらずして、Silur (志留利亞) 上部の化石植物となれり。志留利亞上部の陸生植物は僅に從來、瑞典の Gotland より発見せし *Psilophyton? Hedei* HALLE は Graptolites の一種に過ぎざりしが、今日は北米の志留利亞上部よりは *Hostimella silurica* GOLDRING. が発見され、Australia Victoria の Walhalla series bed も志留利亞上部の由にて *Hostimella* sp. *Zosterophyllum australianum* LANG & COCKS. *Sporogonites Chapmani* LANG & COCKS. *Sporogonites minor* LANG & COCKS. 等の化石 Psilophytales を発見せり。

されば地球上最古の陸生植物の探究は又 Silur 上部へ移らんとするが、之より先き是等 Silur 上部となす地層が果して然るや否やを検討するを必要となす。

油麻藤は九州に産す

小 泉 源 一

肥後國鹿本郡内田村^{アイラ}大字相良に天台宗の相良寺あり、吾平山と稱し由緒遠き創立なり、相良寺へ通ずる坂路を走落と稱し、小谷を隔て、向側に、傳説を以て有名な飛^{トビカヅラ}蔓あり。

昔源平時代、緒方三郎なるもの平家の殘黨を相良寺に焼打せしことあり、其時相良寺の御本尊千手觀音は火難を逃れて、此飛蔓へ飛移り避難されしため此名ありと云ふ、一説に又緒方三郎は焼打して退却しつゝ、走落に來かゝるや飛蔓の蔓が飛び來